

2025年度 夏季テニス大会（ミックスタブルス団体戦）

主催 (一財)港区体育協会 共催 港区教育委員会
主管 港区テニス連盟
大会役員 大会会長 佐藤 信利 ディレクター 加藤 潤 レフェリー 吉野 潤
大会運営係 ドリームクラブ

日時 2025年8月3日(日) 9:00~17:00

参加費 1チーム15,000円
※1チームにつき試合球ダンロップフォート2球入り(未開封・紙フタ)を3個を持参すること

会場 有明テニスの森公園 インドアテニスコート(ハードコート8面)
東京都江東区有明2丁目2-22
当日の連絡先 090-2338-0642(ドリームクラブ 加藤)

種目 ミックスタブルス団体戦

集合場所 **インドアテニスコート 1番コート**

集合時間 **Aブロック-1以外の全チーム 8:45 (1番コート)**
Aブロック-1のチーム 10:00 (1番コート横の受付)
※初戦に出るメンバー6名が揃ってから受付をしてください。

試合方法 **◎予選リーグ**
・Aブロック:5チーム総当たり 4ゲーム先取
・BCDブロック:4チーム総当たり 6ゲーム先取
セルフジャッジ・ノーアドバンテージスコアリング方式(ディサイディングポイントは同性同士)
ミックスタブルス3試合 ※2試合で勝敗が確定しても3試合行います。
※同じメンバーが1対抗戦に2回出場は不可。
※開始時に出場する6名が揃っていない場合、全試合エキシビションとなります。

◎決勝トーナメント

・各ブロック1位チーム:6ゲーム先取(進行により4ゲーム先取に変更)

セルフジャッジ・ノーアドバンテージスコアリング方式(ディサイディングポイントは同性同士)
2試合で勝敗が決まった場合、その時点で終了。3試合目は行いません。
※同じメンバーが1対抗戦に2回出場は不可。

※開始時に出場する6名が揃っていない場合、全試合エキシビションとなります。

※5~8番コートはリーグ戦終了後に決勝出場チーム以外に開放します。

表彰 優勝・準優勝チーム

その他

- ・試合前の練習は各サイド、サービス2本とする。勝ち上がりチームの空きコートでの練習は不可とする。
- ・オーダー表の交換後のメンバーチェンジは認めない。
- ・けいれんやその他不測の事態が起きた場合は、日本テニス協会発行の「ルールブック」最新版に準じる。

セルフジャッジについて(ルールブックより一部抜粋) 参加者は必ず目を通しておいください。

・判定とコール

1) サーバーはサーブを打つ前、レシーバーに聞こえる声でスコアをアナウンスする。プレーヤー同士、アナウンスによってその時点のスコアを確認する。

2) ネットより自分側のコートについて判定とコールをする。ボールがラインにタッチした時、ボールとラインの間に空間が見えなかった時、あるいはボールを見失って判定できなかった時は「グッド」である。ボールとラインの間に、はっきりと空間が見えた時は「アウト」または「フォールト」である。

3) 判定とコールは、相手にはっきりと分かる声とハンドシグナルを使って、ボールの着地後速やかに行なう。代表的なハンドシグナルは人差し指を出して「アウト」「フォールト」を示し、手のひらを地面に向けて「グッド」を示す。

4) ダブルスの判定とコールは、1人のプレーヤーが行えば成立する。しかし、ペアの両選手の判定が食い違った場合はそのペアの失点となる。

ただし、ネット、ストラップまたはバンドに触れたサーブを、1人が「フォールト」、パートナーは「レット(グッド)」とコールした場合は「(サーブの)レット」となる。

8) スコアがわからなくなった時は、双方のプレーヤーが合意できるスコアまでさかのぼり、それ以降のプレーで双方が合意できるポイントを超えたスコアから再開する。合意できなかったポイントは取り消される。ゲームスコアがわからなくなった時も同様に処理する。

12) 各判定とコールをする権利者は以下の通りとする。

a. 「フォールト」「アウト」「グッド」はネットから自分側のプレーヤー・チームのいずれかがコールでき、その判定が成立する。

b. 「ネット」「スルー」「タッチ」「ノットアップ」「ファウルショット」は両プレーヤー・チームのいずれかがコールでき、その判定が成立する。

c. 「フットフォールト」はレフェリー(アシスタントレフェリー)、ロービングアンパイアのいずれか。

14) 妨害によるレットのコール

コート外からの妨害による「レット」のコールは両プレーヤー・チームができる。対戦相手による無意識の妨害(落とし物1回目を含む)は妨害を受けたプレーヤー・チームのみ「レット」をコールできる。2回目以降は故意に妨害したとして失点する。

15) 誤ったコールを訂正した場合(クレーコートを除く)

インだったボールを誤って「アウト」「フォールト」とコール(ミスジャッジ)したとしても「グッド」に訂正(コレクション)し返球が正しく相手コートに入った場合、1回目は相手への故意ではない妨害としてポイントレットにする。

そして、2回目以降は故意に妨害したとして失点する。ただし、ミスジャッジの前に打たれたボールが明らかにウィニングショット・エースまたは返球がアウトした場合は相手への妨害が起こっていないので、1回目であってもミスジャッジをしたプレーヤー・チームの失点となる。

ダブルスのペアの判定が食い違ったとしても「フォールト」「アウト」をコールしたプレーヤー・チームが「グッド」に訂正した場合も同様の扱いとする。

・コーチングなどについて

チームキャプテンがコート上に座っている場合のみ、チームキャプテンはエンド交代時にのみプレーヤーにコーチングを行うことができる。プレー中のコーチングは認められない。

※ボールのイン・アウトの判定やコールは、コート内の選手のみが行える。

※フットフォールトについては、港区ルールとして監督(キャプテン)が気づいた時点で指摘できることとする。

有明インドア使用 注意事項

①1F・2Fロビーは使用可能。設置のゴミ箱は使用不可。ゴミは必ず持ち帰ること。

②コート内での飲食は禁止。水分補給は可。

③コート内・コート脇にレジャーシートを敷く、椅子を置く、三脚を立て撮影することは禁止(床が傷つくため)。